



U-5100形用 1.5 μ L 微量セルによるDNA分析

U-5100

DNA Analysis by 1.5 μ L Trace Sample Cell for U-5100

概要

核酸やタンパクの分析では、試料に対する前処理が必要となります。微量で貴重な試料なため、前処理が正確に行われているかの確認が重要となります。DNAやRNAは波長 260 nm と 280 nm における吸光度の比率を算出し、純度の確認をする事ができます。一般的にこの吸光度の比が1.8以上になると純度が高いと言われています。

今回は、試料の回収が簡単なU-5100形 分光光度計の 1.5 μ L 微量セルを用いてサケ精巣DNAを測定しました。試料量により、12 μ L、50 μ L 微量セルも選択可能です。波長 260 nm における検量線を作成し、試料が微量でも十分な分析が行える事が確認できました。

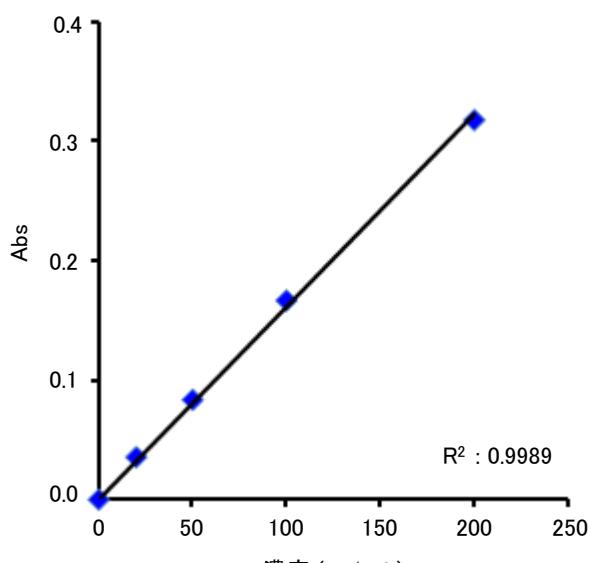
また、U-5100形は微量セル用マスクをセルホールダから取り外す事により容量の大きい 10 mm 角セルにて測定可能です。

試料

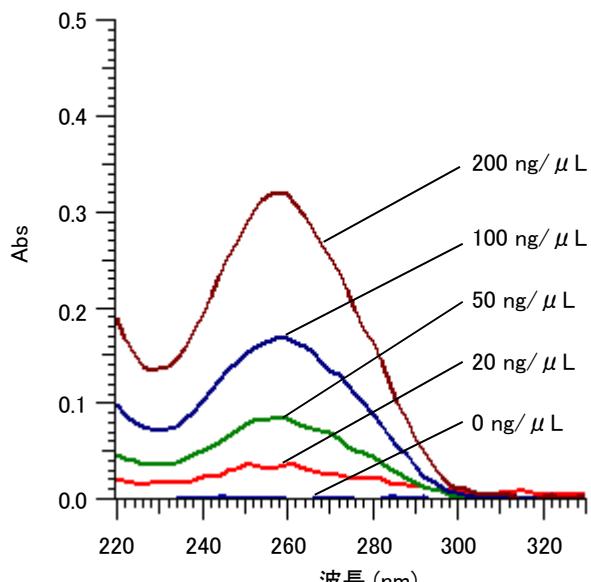
サンプル名 : サケ精巣DNA

溶媒 : TEバッファー (pH 8.0, 10 mM Tris HCl, 1 mM EDTA)

装置条件		付属品
装置	: U-5100形 分光光度計	シングルセルホールダ (P/N : 3J2-0110)
測定波長域	: 200 ~ 330 nm	微量セル用マスク (P/N : 3J2-0130)
スキャンスピード	: 400 nm/min	1.5 μ L 微量セル (P/N : 3J2-0120)
スリット	: 5 nm	



サケ精巣DNAの検量線



サケ精巣DNAの吸収スペクトル

KEY WORDS
バイオ・医学・食品・製薬関係、DNA、

生化学、サケ精巣DNA、検量線、

Biochemistry, DNA, Calibration Curve, UV, U-5100

分光光度計 UV

シートNo. UV110008-01